

【教育民生常任委員会所管分】

番号	所管課	要件	意見・要望・質問	調査結果
1	教育総務課	修学支援	大学生を持つ家庭への学費の補助はできないか。	三豊市では修学意欲を持ちながら、経済的理由で修学困難な学生に対し、貸付型奨学金及び給付型奨学金があり新入学が対象であるが、要望については執行部に働きかけていく。
2	福祉課	障害者支援	障害児を育てている保護者から三豊市は預ける場所が足りないとよく聞く。 将来のあらゆる子供の為に共生社会を目指して、たくさんの施設を増やしてほしい。	障害のある子どもを預かり日常生活における基本的な動作の指導、集団生活への適応訓練等療育を行う福祉サービスを提供している事業所が3か所あるが、常に満員状態であると聞いている。このことからその解決方法を執行部に働きかける。
3	スポーツ振興課	スポーツ施設	宝山湖公園は、現在でも利用者が少なく平日はほとんどいない。僻地にあるからである。整備費やその後の維持費を考えると費用対効果でマイナスとなると思う。公共施設の統廃合をしなければならない時代なのだから、宝山湖公園は廃止してもよかったと思う。	今後の改修により、平日の利用促進とスポーツを拠点にした「ウェルネス」「ツーリズム」「教育」など多角的な事業展開を考えているとのことであり、それが実行できているのか注視していく。
4	学校教育課	学校運営	学校を信頼できない。部活は任意加入であるにもかかわらず文科省のガイドラインを無視し部活を強制させる三豊市内の中学校もある。任意加入にするべきである。 また、部活は中学校単位である必要がない。中学校単位であるから部活の選択肢が少なく、転校する生徒もいる。部活を中学校単位ではなく外部のクラブでするようにすれば部活で転校する生徒は減ると思う。 また、部活を優先し授業をおろそかにする教師もいるし、部活をするから授業についていけない生徒もいる。放課後は授業についていけない生徒は部活をさせず補習授業をするべきであるし、授業をおろそかにする教師は部活の顧問から外れるべき。学校側には学力を向上させるやる気や能力が感じられないと思う保護者が大変多いから私立や国立中学に通わせたり塾に行かす。 学校用品も不透明な部分が多数ある。例えばヘルメットは小学生のころから使っているものがあるのに、中学では一律で同じものである。ヘルメットは壊れない限りそのまま利用できる、また中学のは通気性が悪い。だから、無駄である。制服も各学校ごとに異なる必要は全くない。三豊市全域でそろえれば価格も安くなるはずなのにそろえようとしない。学校側は保護者の負担を考えていない。	教育委員会、学校、執行部に保護者、生徒に十分な説明をするよう求め、生徒、保護者のご意見をお聞きする機会を作るように執行部に求める。
5	スポーツ振興課	スポーツ施設	事業では宝山湖公園は遠くて人と人との交流イベントや健康以前の問題で利用者が少ないと思う。無理して整備しなくてもいい。	改修後は平日の利用促進策も考えており、遠く感じる方々にも行きたいと思える施設になるように考えているとのことだが、どのような事業展開をしていくか注視していく。
6	学校教育課	学校運営	私は三豊市が香川県で一番学力が高いまちなら、定住する人が増えると思っている。学校の先生は授業に専念し、部活はすべて民間に委託する必要があると思う。土曜授業の復活や夏休み短縮で学力を高くしてほしいと思う。	地域スポーツの受け皿や指導者の確保、学力の向上を図るシステム構築を執行部に求めていく。
7	健康課	コロナ対策	コロナは、初めは未知のウイルスということで恐れていたが、一年経った今、果たして市民がこんなにも我慢しながら生活しなくてはいけないのか。特に子どもたちは何年経っても重症、死亡0のこと。市民全体の0.0...%の人のことを優先して、子どもたちに我慢させすぎである。未来ある子どもたちの笑顔を守ってほしい。	第5波を迎え、感染者数の急増とともに全体に占める小児（0歳～19歳）感染者数の割合はわずかに増加傾向にあり、感染後の後遺症等もあわせて、今後の動向を注意深く見守っていく必要がある。基礎疾患のある小児、又は2歳未満の子どもは比較的に症状が重くなる傾向があるとされているので、社会全体での基本的な感染対策（3密回避、適切なマスク着用、手洗いなど）を徹底しながらの新しい生活様式の実践をお願いしたい。ご不便をおかけするが引き続きご協力をお願いしたい。

番号	所管課	要件	意見・要望・質問	調査結果
8	スポーツ振興課	スポーツ施設	カマタマーレ讃岐の優先使用する施設を2か所も作る理由がわからない。まず1か所目ではどのような費用対効果があったのか。2か所も作ってどのような費用対効果が見込めるのか。基金を取り崩したり、起債をしてする事業とは思えない。	「ウェルネス」「ツーリズム」「教育」など多角的な事業展開を行い、両施設の整備効果を最大限に見出すように執行部に求めていく。
9	学校教育課	学校運営	学校選択制を取り入れるべきではないか。やりたい部活がある生徒にはその部活がある学校を選べばいいし、学力を伸ばしたい生徒は学力を伸ばす授業をする学校に通える。学校も競争をして生徒や保護者にとって魅力のある学校を作るべきだと思う。例えば、今の学校は画一的で学力の高い生徒も低い生徒も同じ授業や同じ宿題をやっていてつまらないので、学力に合った授業や宿題を出してほしい。部活も同じ種類の部活を各学校でそろえるのではなく、A中学なら〇〇、B中学なら△△など特徴を出してほしい。	今年度からすべての学校でコミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）が導入され、また中学校の統合等の学校再編も検討委員会で協議していると聞いており、その成果を見守り、議会として執行部に市民の意見を伝えていく。
10	学校教育課	学校運営	各学校ごとにプールは必要であるのか。プールの維持費、水道代、稼働率を考えると、三豊市温水プールを作って水泳の授業をするほうが安上がりではと思う。	各校のプールの設置は、利便性と安全管理の側面から必要であると考えている。また、児童生徒が授業でプールを利用し、安全面や泳力面の知識や技能を習得するためには、移動は短時間でできる方がよいと考えている。（安全面での配慮から車での移動等を考慮すると現行のままが良いと思われるが執行部と協議していく。）
11	生涯学習課 学校教育課 子育て支援課	教育・子育て支援	社会教育 子供の教育 居場所づくり等々に力を入れてほしい。	子どもが安心して過ごせる居場所づくり、教育の推進等を関係機関へ働きかけていきたい。
12	学校教育課	学校運営	学校の負担が重い。体操服や制服は三豊市で一律でそろえることで少しでも安くできないか。	時代の動向を踏まえて、随時、生徒会等と話をしながら、少しずつ制服（標準服）などの見直しをしている。制服（標準服）全体の見直しについては、検討には至っておらず、今後は社会環境の変化を捉えながら、検討していく必要があると考えている。
13	学校教育課	学校運営	部活は任意加入（文科省もそのようにガイドラインに定めている）、任意顧問（校長に命令されずあくまで自主的）である。守られているのか。守られていない学校があると聞いた。 PTAも同じく任意加入が原則である。守られているのか。 学校における個人情報を守られているか。（ホームページに掲載する際の保護者の許可、マスコミの取材の保護者の許可、PTAに個人情報を提供する際の保護者の許可）	部活動の入部の在り方については、「三豊市立・学校組合立中学校に係る部活動の方針」において、原則希望制とし、生徒の個性の尊重と柔軟な部活動運営を行っている。 PTAの加入については、三豊市・学校組合立学校では保護者の判断による任意加入となっている。 個人情報の保護については、多くの学校で入学時に保護者に承諾書を取り、確認をしている。また、学校だよりやホームページに掲載する写真は個人を特定できないように配慮をしている。 （上記のことが順守されているか執行部に確認していく。）
14	教育総務課	修学支援	給付型奨学金は、新規進学者だけでなく、すでに進学済みの学生に拡げることはないのか。 日本学生支援機構と条件を合わせることはできないのか。	「給付型奨学金」については今年度から始まった制度であり、今年3月に高校を卒業し進学された学生を対象としている。今後、大学2年生以上の現役学生を対象とする制度の拡充については、ニーズ調査（アンケート調査を実施中）を踏まえ、拡充策を検討していく予定である。 また申請条件については、三豊市奨学金支給要綱に基づき、所得状況で選別し門前払いするのではなく、学業やスポーツ、文化・芸術などあらゆる分野において意欲ある学生が安心して頑張れる環境を実現するべく創設した三豊市独自の奨学金制度であり、日本学生支援機構の条件に合わせることは考えていない。（と聞いているが、市民ニーズに合った事業になるよう執行部に求める。）
15	スポーツ振興課	スポーツ施設	いろいろな施策を聞いたけれど宝山湖公園整備には絶対反対である。儲ければ賛成した市長・議員・市民で儲けを山分けすればいい。ただし、失敗した場合は反対した議員・市民には負担をかけないで。	宝山湖公園を整備することにより、平日における利用促進を行い、スポーツを拠点とした「ウェルネス」「ツーリズム」「教育」など多角的な事業展開を考えており、整備費についても、宝山湖ポールパーク構想に賛同をいただいている企業によるふるさと納税を活用し、できる限り負担を軽減していく方針のもと取り組んでいる。（と聞いているが、事業展開を注視していく。）
16	学校教育課	学校運営	卒業式や入学式などで議員など来賓は不要である。コロナの数少ない利点で無意味な来賓が来なくて教職員・生徒・保護者とてもありがたい。	コロナ禍では、安全・安心の側面から出席者数の制限が行われていたが、今後の案内については、市や教育委員会、校長会などで検討をしていただく。

番号	所管課	要件	意見・要望・質問	調査結果
17	学校教育課	学校運営	教職員給料がどのような基準なのか知らないが、年功序列や臨時や正規関係なく同一労働同一賃金・成果で決めればいい。私の知る学校では臨時の先生のほうが正規の先生より授業の教え方が上手で学力も高い。	教員は県教育公務員として資質と指導力向上のために研修していると聞く。今後さらに校内研修を充実させ、児童、生徒の学力向上につながるようすることを執行部に求める。
18	スポーツ振興課	スポーツ施設	宝山湖運動施設に4億1千万円の投資は凄い。どんな運動施設ができるのか期待したい。投資対効果がどうなるか不安もあるが青少年育成活動やプロスポーツの本物で青少年に努めてほしい。	プロの選手が練習できる環境の施設を子供たちも使用することで、何か感じるものが必ずあるはずである。本物に触れる機会とより多くの選択肢があることで、未来に向けて希望や夢を追いかける環境づくりに一役を担うものと考えている。（執行部に求める。）
19	健康課	子育て支援	子供の医療費について、中学生まで医療費助成に助けられているが、高校生まで負担0になるとさらに住んでいたいと思えるようになる。	高校生までの医療費無料化は、子育て世代の経済的負担の軽減に資すると共に、子どもの貧困や格差の観点からも病院に行くことをためらわない制度設計が必要と感じている。 現在、市が実施している各種事業の見直しが必要という状況下の中で、各事業の優先度等を含め、他の子育て支援策との比較、その財源等を含めまして総合的な子育て支援施策を講じていく必要があると考えている。（執行部に求める。）
20	学校教育課	学校運営	部活が国の定めたルールを守っていない。三野津中学校は4時から6時15分まででルール違反。国のルールでは平日は2時間まで。詫間中学校もルールを守っていない。6時45分頃にマリンウェーブで自転車の列をみるが、ルールを守っていたら6時20分頃にはマリンウェーブで自転車の列をみることになるはず。国のルールを守らない学校や先生が生徒にルールを守らせる教育は無理である。学校を信頼できないようにしているのは先生ではないか。	三豊市内中学校では、「三豊市立・学校組合立中学校に係る部活動の方針」に則り、指導・運営に係る体制の構築をしている。活動時間については、発達の段階に応じた望ましい指導の在り方として、「1日の活動時間は長くとも平日では2時間程度、学校の休業日は3時間程度とすることを目標とする」と示しており、各校でできるだけ短時間に、合理的かつ効率的・効果的な活動を行うよう努めている。（執行部に求める。）
21	スポーツ振興課	オリンピック	五輪で出場が決まった選手の応援幕が市役所にあったけど、五輪反対・延期が国民の多数派なのだからする必要はない。	オリンピック開催について賛否両論あるのは認識しているが、選手たちの活躍が三豊市民、香川県民、そして日本国民に元気と勇気を与えてくれるものと考えている。また、桃田選手については、本市のふるさと大使に就任いただいていることから、市民の応援機運醸成のため、後援会が懸垂幕を作成・設置している。